＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	みまさかエコハウス
グループの名称	みまさか住まいづくり研究会
直近採択グループ番号	06-0427-0627

（グループ代表者）

代表者名	山根　秀治　代表者印
代表者所属先	有限会社山根工務店
代表者所在地	岡山県津山市東一宮
代表者電話番号	08-6827-2755

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社土居建材店
事務局担当者名	小椋　淑宏　印
事務局郵便番号	708-0016
事務局所在地	岡山県津山市戸島634-14
事務局電話番号	08-6828-6191
事務局FAX	08-6828-6194
事務局担当者E-mail	doiken@topaz.ocn.ne.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	みまさかエコハウス
２．グループの名称(必須)	みまさか住まいづくり研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0427-0627
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	岡山県、鳥取県
５．結成年(必須)	2000　年
６．グループ代表者名(必須)	山根　秀治
７．グループ代表者の所属先(必須)	有限会社山根工務店
８．グループ代表者所在地(必須)	岡山県津山市東一宮
９．グループ代表者電話番号(必須)	08-6827-2755
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社土居建材店
１１．グループ事務局担当者名(必須)	小椋　淑宏
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	708-0016
１３．グループ事務局所在地(必須)	岡山県津山市戸島634-14
１４．グループ事務局電話番号(必須)	08-6828-6191
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	08-6828-6194
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	doiken@topaz.ocn.ne.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	4	原木供給業者が海外若しくは国の機関の場合、念書の取得が困難な事からグループ構成員にすることができない
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	8	製材及び集成材供給業者が海外の場合、念書の取得が困難な事からグループ構成員にする事が出来ない。
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	6	
Ⅳ．プレカット	3	
Ⅴ．設計	7	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	1	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	棟	
			㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	棟	
			㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	本事業に参加希望する工務店に 最低1戸を配分し、そのうえで受注が確実視されている工務店から優先的に配分していく。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）										
		採択戸数	8	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）										
		採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	優良建築物型										
		採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		戸
		採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木供給業者が海外若しくは国の機関の場合、念書の取得が困難な事からグループ構成員にすることができない

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
33	Ⅰ－ 1	一般社団法人岡山県木材組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2丁目5番10号	086-222-7671
33	Ⅰ－ 2	真庭木材市売株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾1番地	0867-42-0602
33	Ⅰ－ 3	株式会社津山綜合木材市場		708-0011	岡山県津山市上田邑2880	0868-28-7777
34	Ⅰ－ 4	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	0823-71-7141
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
製材及び集成材供給業者が海外の場合、念書の取得が困難な事からグループ構成員にする事が出来ない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
34	Ⅱ － 5	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	0823-71-7141
33	Ⅱ － 6	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
33	Ⅱ － 7	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218	0867-42-1100
33	Ⅱ － 8	株式会社鈴鹿製材所		709-3717	岡山県久米郡美咲町原田1926	0868-66-0161
33	Ⅱ － 9	鳥越工業株式会社		719-3224	岡山県真庭市目木1813-1	0867-42-0610
33	Ⅱ － 10	江与味製材株式会社		709-3415	岡山県久米郡美咲町江与味1133	0867-72-2014
28	Ⅱ － 12	竜野ハウジング有限会社		671-1242	兵庫県姫路市網干区浜田1606番地	079-272-1931
34	Ⅱ － 13	東亜林業株式会社		729-0105	広島県福山市南松永町3-2-20	084-934-6717
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
33	Ⅲ － 11	津山木材市売株式会社		708-0884	岡山県津山市津山口337-7	0868-22-6246
13	Ⅲ － 14	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1丁目7番22号	03-5534-3711
23	Ⅲ － 15	大日本木材防腐株式会社		455-8680	愛知県名古屋市港区千鳥1丁目3-17	052-661-1501
33	Ⅲ － 16	さんもく工業株式会社		702-8045	岡山県岡山市南区海岸通2丁目6-3	086-262-0137
33	Ⅲ － 17	株式会社土居建材店		708-0016	岡山県津山市戸島６３４－１４	0868-28-6191
31	Ⅲ － 18	株式会社ミヨシ産業		683-0853	鳥取県米子市両三柳2360-8	0859-34-3111
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
31	Ⅳ － 19	株式会社ミヨシ産業プレカット工場		689-3423	鳥取県米子市淀江町小波1892-1	0859-56-6868
33	Ⅳ － 20	院庄林業株式会社プレカット工場		708-0015	岡山県津山市神戸481	0868-28-5711
33	Ⅳ － 21	株式会社ヤマホン		706-0001	岡山県玉野市田井3丁目20-28	0863-31-1166
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
13	Ｖ － 14	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1丁目7番22号	03-5534-3711	○	
38	Ｖ － 22	伊予木材株式会社		795-0061	愛媛県大洲市徳森1416	0893-25-4411	○	
10	Ｖ － 23	佐下橋設計室		373-0817	群馬県太田市飯塚町1550	0276-40-1247	○	
33	Ｖ － 24	株式会社小林工業		707-0045	岡山県美作市巨勢2440-1	0868-72-1882	○	
33	Ｖ － 25	浮田建設株式会社		708-0022	岡山県津山市山下５	0868-22-2151	○	
33	Ｖ － 26	株式会社酒井工務店		719-3144	岡山県真庭市落合垂水７４０番地	0867-52-0266	○	
33	Ｖ － 27	有限会社山根工務店		708-0814	岡山県津山市東一宮８３番地の９	0868-27-2755	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							5	○	○
33	Ⅵ - 17	78618	株式会社土居建材店		708-0016	岡山県津山市戸島634－14	0868-28-6191	○	
33	Ⅵ - 24	78606	株式会社小林工業		707-0045	岡山県美作市巨勢2440-1	0868-72-1882	○	
33	Ⅵ - 25	78658	浮田建設株式会社		708-0022	岡山県津山市山下5	0868-22-2151	○	
33	Ⅵ - 26	78554	株式会社酒井工務店		719-3144	岡山県真庭市落合垂水740番地	0867-52-0266	○	
33	Ⅵ - 27	78698	有限会社山根工務店		708-0814	岡山県津山市東一宮83番地の9	0868-27-2755	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
33	Ⅵ － 17	78618	株式会社土居建材店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 24	78606	株式会社小林工業	21 戸	20 戸	6 戸	7 戸	1 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	○
33	Ⅵ － 25	78658	浮田建設株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
33	Ⅵ － 26	78554	株式会社酒井工務店	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
33	Ⅵ － 27	78698	有限会社山根工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡		

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 14	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1丁目7番22号	03-5534-3711
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）みまさかエコハウス	（地域型住宅供給対象地域）岡山県、鳥取県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）みまさか住まいづくり研究会	（結成年）2000　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0427-0627	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	岡山県北部に位置する美作地方の中国山地沿いは日本海側気候に属し、4地域（平成28年度省エネルギー地域区分）に区分されるほど寒冷な気候である。冬季の厳しい外部環境の中、住む人の健康に配慮するためには、家の中の温度変化を少なくし快適な環境が必要。その為に地域型住宅は高気密高断熱住宅とし、室内温熱環境を改善していく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏季に高温多湿、冬季に極寒な上に強風となる地域の気候風土にも適し、構造計画が容易で、断熱層がとりやすい木造軸組を採用していく。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・自然や街並みと調和のとれた美しいデザインを採用していく。 ・夏季の日射遮蔽を考慮して、庇を出来る限り取り入れる。	○
④ ①～③の背景	・岡山県北部の美作地域は、北部西部は中国山地、東部を美作台地、南部は吉備高原に囲まれた緑豊かな地域である。気候は盆地特有の夏はむし厚く、冬は寒いのが特徴である。そのため、冬は暖かく、夏は涼しい省エネルギー住宅が望まれている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域のマスコミ関係会社（新聞社、ケーブルテレビ会社等）を通じて、みまさかエコハウスの取り組みを紹介していきながら、地域の環境に対応した家づくりを実践していることを消費者にPRしていく。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・グループ構成員である指定プレカット工場で加工することによる規格の統一化。 ・合法性証明、PEFC森林認証により強度の確保された地域材を原則主要構造部材の過半に使用する。 ・構造計算により主要構造材の幅は105mmを標準とする	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・グループ共通使用の資材カタログを活用しながら、使用建材の統一化を図っていく。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・節水対策として雨水タンクの使用。 ・結露対策として、アルミ複合樹脂サッシ（同等性能以上）、断熱型LOW-Eガラスを使用していく。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・グループ共通の資材発注書で納期管理の明確化を図る。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・材料の流通仕入先はグループ内で統一し、共同仕入により調達事務を合理化する。 ・施主様ごとに管理№を設定している受発注システムにより資材調達の管理しやすくしていく。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・年に4～5回程度、施工グループを中心とした会議を開催。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：・川上の原木供給業者から施工業者まで、高品質の木材が調達できるよう情報を密にとっていく。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：・設計グループ構成員等によるサポート支援、仕様説明会を開催し、施工基準の整備に努める。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：・現場管理手法指導で現場をチェックし、品質管理の向上を図っていく。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：CADシステム積算を利用し、受注した物件の「業務の効率化」を図っていく。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：安心・安全のコンセプトで設計の情報を共有化し、資材の統一化を図る。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある →	内容：長時間労働を是正し、工程の改善していきながら、働きやすい職場環境を目指す。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない	□ ある →	内容：技能と経験が積むとともに、それを適正に評価し、ふさわしい待遇が図れるように努めていく。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：社会保険未加入をなくすため、適切な保険に加入するようにすすめていく。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：現場で働く人の健康と安全を確保できるように、安全衛生教育の強化を図る。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		123			

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）みまさかエコハウス	（地域型住宅供給対象地域）岡山県、鳥取県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）みまさか住まいづくり研究会	（結成年）2000　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0427-0627	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・グループが推奨している住宅履歴情報サービス機関への情報蓄積の原則義務化。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：・住宅履歴管理システムを活用し、管理が円滑に行えるように努めていく。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	■ ない	□ ある →	内容：	
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：地域住宅の長寿命化に向けて、点検内容・診断基準を設定し、住まい手の安心と信頼を確保する。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：地域住宅の長寿命化に向けて、点検内容・診断基準を設定し、住まい手の安心と信頼を確保する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	■ ない	□ ある →	内容：	
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：・必要に応じ、住まい手向けに、事務局、施工グループを中心として、住まいの維持管理の必要性を訴えていく。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
		③-3 その他の相談会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：・年に4～5回程度、施工グループを中心とした会議を開催。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：・グループが推奨する「住宅完成保証」への加入を勧める。 ・構成員が倒産廃業した場合に、他の構成員がバックアップできるように事務局が可能な限り斡旋していく。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：・住宅瑕疵保険会社のホームページ等の瑕疵内容紹介の動画、チラシを使って、住宅瑕疵保険の内容を説明していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

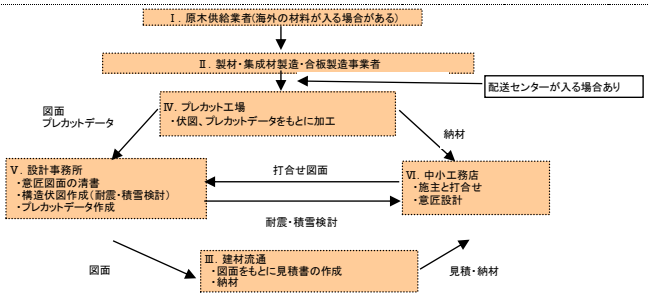
【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：・施工技術に関する勉強会を年2回程度開催。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・現場管理手法指導で現場をチェックし、品質管理の向上を図っていく	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	■ ない	□ ある →	内容：	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：・2020年「省エネ基準適合化住宅の義務化」に向かって、ゼロエネルギーハウス(ZEH)や長期優良住宅の供給体制の確立化を図っていく。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：・2020年「省エネ基準適合化住宅の義務化」に向かって、ゼロエネルギーハウス(ZEH)などの取り組みを支援をしていく。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：・施工グループ　メーカー主導の勉強会の参加。 ・事務局　勉強会の案内、情報伝達	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　15		今年度の参加目標人数　2	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　0		今年度の参加目標人数　3	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：・省エネ技術講習会の未受講者がいる事業所には、参加の義務付け。	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：・事務局を中心に、建材設備メーカーの新しい技術導入の情報を発信していく。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：・住宅環境負荷の低減を高める技術に関する講習会等の参加を促し、技術力を高めていく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）みまさかエコハウス	（地域型住宅供給対象地域）岡山県、鳥取県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）みまさか住まいづくり研究会	（結成年）2000 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0427-0627	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	柱、梁・桁、土台の主要構造部材及び小屋束、母屋の二次部材・地域材を原則主要構造部材の過半に使用する。 ・地域材は強度選別されたものを使用する（地域材で強度が確保できない箇所は除く）	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：事務局と原木供給構成員と連絡を密に取りながら、在庫把握に努める。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：事務局と原木供給構成員と連絡を密に取りながら、価格の情報の共有化をしていく。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	○
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：西日本有数のヒノキ、スギの産地である岡山県美作地方の地域材　美作材を構造材だけでなく、内装材、家具としても使用していくようPRしていく。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地元地域の景観に配慮した家づくりを推奨していく。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・地域材は、次の理由から国内産及び海外産の合法木材認証制度の認証をうけたスギ、ヒノキ、国産アカマツ、米松、欧州赤松とする。だが、一部樹種が、欧州赤松、米松など海外樹種で原木業者が海外の会社の場合念書を提出できない業者を含む。その場合、原木業者から念書登録可能な国内のメーカーが森林認証（PEFC）等で繋がっており、何かトレースが必要な場合に証明することが可能な商品を使用することを条件とする。 ①以下に該当する認定制度に基づく証明の添付。 PEFC森林認証制度・森林経営の持続性や環境保全の配慮などについて民間の第三者機関により認証された森林からの産出される木材・木材製品。 ②原木の産出国がわかる書類のひな形の添付。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災された地域が一日も早い地域の復興を願い、グループ事務局を中心に、地元行政機関や公益団体等が行う寄付金活動やチャリティーバザーに参加し、復興の一助となるよう努めていく。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	被災された地域が一日も早い地域の復興を願い、グループ事務局を中心に、地元行政機関や公益団体等が行う寄付金活動やチャリティーバザーに参加し、復興の一助となるよう努めていく。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）みまさかエコハウス	（地域型住宅供給対象地域）岡山県、鳥取県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）みまさか住まいづくり研究会	（結成年）2000 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0427-0627	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

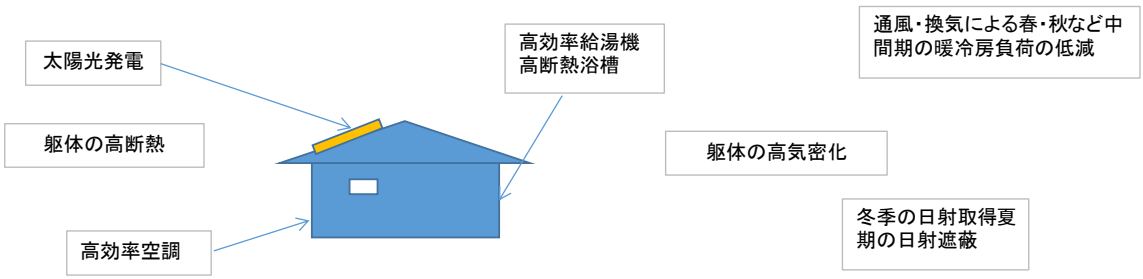
〇高度省エネ型
認定低炭素住宅について
外皮性能は平成28年度省エネルギー基準同等以上の断熱性能を確保する。
一次エネルギー消費量は基準一次エネルギー消費量から10%以上削減する。
選択的項目においては「みまさかエコハウス」は木造住宅かつ雨水タンクが装備されておりクリアしているが、更に一項目の達成を推奨する。
所管行政庁の認定を受ける。

木造住宅
＋
雨水タンク　必須

その他、節水機器、HEMS、太陽光＋蓄電池、ヒートアイランド対策、　推奨

〇性能向上計画認定住宅について
顧客の税制優遇を考えると、ほぼ同一な省エネ基準である認定低炭素住宅を勧めるが、建設予定地によっては認定が取れない場合に勧めたい。
外皮性能は平成28年度省エネルギー基準同等以上の断熱性能を確保する。
一次エネルギー消費量は基準一次エネルギー消費量から10%以上削減する。
所管行政庁の認定を受ける。

〇ゼロ・エネルギ-住宅
平成28年省エネルギー基準に準じた評価方法による。
ゼロ・エネルギー住宅としての性能を評価・表示する住宅版 BELSの評価を受ける。
グループモデルの内容については以下の通りである。
・外皮は、ドアD2仕様、窓一重木製又はプラスチック製Low_E複層_GA10以上。
・設備内容は、太陽光発電を採用とする。
・暖冷房は「主たる居室」と「その他居室」共にルームエアーコンデショナー。
排気はダクト式一種排気設備、熱交換型排気設備あり。
給湯は電気ヒートポンプ給湯機、ふろ給湯機（追いだきあり）。
ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下、水栓は2バルブ水洗以外、高断熱浴槽を使用する。
申請する物件により適宜内容の変更はあるものとする。



※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。